

高津区民祭参加事業 第2回企画展・記念講演会が終了

～ある郷土史家から見たふるさと高津～

テーマ「殖産興業を前にした溝ノ口の当時の様子」

6月27日（土）から7月26日（日）まで、今年度第2回企画展が開催されました。地元郷土史家・上田恒三氏が収集された文書は、幕末から昭和まで400点以上にのぼります。また、そのほとんどは江戸末期から明治10年頃のもので、今回は、その中から殖産興業に視点をあて30点を精選し、溝口周辺では殖産興業を前にしてどのように産業が発展していったかを展示しました。参観された方のアンケートに次のような感想がありました。「展示物がとてもわかりやすく楽しめました。史料の読み下し文であり、感心致しました。（60歳代・女性）」この間、1269人の方が来館され、多くの方にご好評をいただき中、第2回企画展を無事終了することができました。



熱気に包まれた企画展記念講演会

演題「明治期の殖産興業の背景とその影響」

7月19日（日）には、元明治大学大学院講師・渡辺賢二先生を講師にお迎えして、「明治期の殖産興業の背景とその影響」をテーマに第2回企画展事業の一環として記念講演会を行いました。

当日は、34人の参加者があり、会場のイベントホールは熱気に包まれました。講師の渡辺先生からは、明治初期の農業、金融政策、交通網の整備、郵便事業について、ご講演をいただきました。また、溝口付近における殖産興業政策については、上田史料の読み下し文に解説を加えてお話をいただきました。会場の皆様からは、「明治政府がなぜ殖産興業に力をいれたか、また、この地溝口がそれを積極的に取り入れようとした様子がよく分かった」との感想を聞くことができました。

まさに、企画展にふさわしい実のある記念講演会となりました。



子ども大山街道探検クラブ活動の紹介

～7月・8月 夏休み自由研究の取り組み～

7月と8月は自由研究への取り組みが活動の中心です。7月15日はどのように研究を進めたらよいか、ふるさと館職員から説明がありました。子ども達は、高津区社会科作品展に出品された作品例や自分の研究の内容につながる「みぞのくち不思議発見」の話に熱心に耳を傾けていました。一人一人の研究を進めるうえでイメージをより具体的に持つことができたようです。また、今年は、お母さん方にも一緒に集まっていたいただき、作品づくりへのポイントを説明する機会を持たせてもらいました。



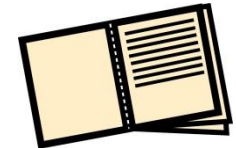
7月22日は、24人の子ども達が参加して自分の研究をどのようにまとめるか、ふるさと館スタッフの助言を聞きながらメモ帳に記録していました。8月末には、どのような作品が仕上がるか楽しみです。ふるさと館の職員もきめ細かに支援していきたいと思えます。

探ろう！大山街道の歴史

～中学生のための郷土理解講座～

8月10日（月）当日は、朝から大気が不安定で午前中は、雨模様となりました。近隣の中学生34人が出席し、「中学生のための郷土理解講座」が開催されました。第一部では、溝口周辺の歴史や文化について、第二部では、大山街道に焦点をあて、資料や写真をもとに話を聞きました。「大山街道はいつ頃からできたのか」の質問がでるなど熱心な話し合いで時間を延長しての講座となりました。

中学生にとって、郷土理解を深め、夏休みの自由研究へのヒントにつながる貴重な一日となりました。



子ども大山街道探検クラブ作品展示とお話会(高津図書館との連携事業)

高津図書館との連携事業で、6月19日（金）から29日（月）までの10日間、高津図書館展示室において子ども大山街道探検クラブの子ども達の作品が展示されました。

この展示室には、多くの方が訪れ、「熱心に調べていて感動しました。」「内容がとてもわかりやすく、見やすかった。」「小学校3年生にしては、よく調べました。立派です。」など多くの方から感想をいただきました。探検クラブの子ども達にとっても、今後に向けて大きな励みになった10日間となりました。



おはなし会の様子

歴史探究講座のお知らせ

第2回講演会参加者の募集

★テーマ 中世の川崎市域の道 -府中道（鎌倉道）を中心に-

中世に入ると、鎌倉（幕府）につながる「鎌倉道」が各御家人の支配地と結ばれました。川崎にも鎌倉道がいくつかあり、府中道も鎌倉道として利用されました。右の写真（昭和40年頃）は高津区役所裏の小道ですが、旧鎌倉道と言われています。鎌倉道を中心に中世に詳しい中西先生に川崎市域の道から当時の様子を紐解いていただきます。

- ☆日時 10月17日（土） 午前10時～12時
- ★講師 中西 望介氏（郷土史研究者）
- ☆会場 大山街道ふるさと館 イベントホール
- ★参加費 300円（資料代含む）
- ☆定員 60人（先着順）
- ★申込み 9月17日（木）から電話、FAX、ふるさと館の窓口で受け付けます。



▲ふるさと館前の道標



▲旧鎌倉道（ねもじり坂付近・右側の細い道）



街道学習講座参加者の募集

“なるほど！歩いて楽しい大山街道”

街道研究家の中平龍二郎氏と錦秋の大山街道を歩きませんか。皆様のご要望にお応えして今年度も3回シリーズで実施します。

☆日時とコース () の距離数は街道のみのキロ数です。

	日時・コース	集合場所・集合時刻
第1回	10月29日（木） 13:00～16:00 鶴間～さがみ野（約4.3キロ）	小田急江ノ島線 鶴間駅改札口集合 *集合時刻12:50分
第2回	11月12日（木） 13:00～16:00 さがみ野～柏ヶ谷（約4.0キロ）	相模鉄道線 さがみ野駅改札口集合 *集合時刻12:50分
第3回	11月26日（木） 13:00～16:00 柏ヶ谷～海老名（約5.2キロ）	相模鉄道線 かしわ台駅改札口集合 *集合時刻12:50分

*予備日 12月3日（木） *行程の都合上13:00には出発します。

小雨でも実施します。中止の場合は、前日の午後5時の時点で参加者の皆様に連絡します。

★定員 25人（先着順） ☆参加費 500円（保険料及び資料代を含む）
参加費は3回分として当日集金します。2回目以降欠席された場合、払い戻しを致しませんのでご了承ください。

★申込み 10月1日（木）から電話、FAX、ふるさと館の窓口で受け付けます。

大山街道（二子・溝口宿）をゆけば

二子・溝口宿の主な史跡をシリーズで紹介します。街道散策の折の参考になれば幸いです。

“第8回 大和屋と濱田庄司”

（所在地：高津区溝口）

大山街道ふるさと館の右隣りに「アンディガーデン」という洋菓子店があります。この店の前身は、溝口で代々和菓子の製造販売をしていた「大和屋」です。陶芸家として第1回人間国宝となった濱田庄司は、この大和屋で少年時代の多くを過ごしました。

少年時代の庄司は、色白でおとなしい少年であったといわれています。また、絵を描くのが大好きで、よく大石橋のところで写生をする庄司の姿を見かけたという話も語り継がれています。

濱田庄司は、後に栃木県益子に住み、益子焼の名を広めた人でもあります。最後までふるさと溝口の原風景を愛し続けた濱田は、昭和53年1月、享年83歳で他界し、現在溝口の宗隆寺に眠っています。

二ヶ領用水「濱田橋」の上に立つと、この地に生まれた偉大な芸術家、濱田庄司の面影が偲べれます。



▲古写真（大和屋と少年時代の庄司）
＜左から三番目が濱田庄司＞

第42回高津区民祭大いにぎわう

今年も「大山街道ふるさと館」を本部として、7月26日（日）に高津区民祭が開催されました。当日は、関東地方一番の猛暑日という大変暑い日になりましたが、沿道は、屋台や大勢の人々で埋め尽くされました。

午後、ホワイトエンジェルスによる女性オートバイを先頭にオープニングパレード、音楽パレード、お神輿パレード、最後に万灯パレードと、迫力あるイベントがおよそ6時間に渡って次々と繰り広げられ、真夏の祭典は一日中大勢の人でにぎわいました。



申込み・問合せ 大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3
電話：044 (813) 4705 FAX：044 (814) 0250

開館 時間 ・9:30～21:30

休 館 日 ・年末年始（12月28日～1月4日）

施設点検日 ・毎月 最終金曜日

床 清 掃 ・奇数月 第3水曜日

※施設点検日、床清掃日は会議室等の利用ができません。

※駐車スペースがありませんので、お車での来館はご遠慮ください。



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分